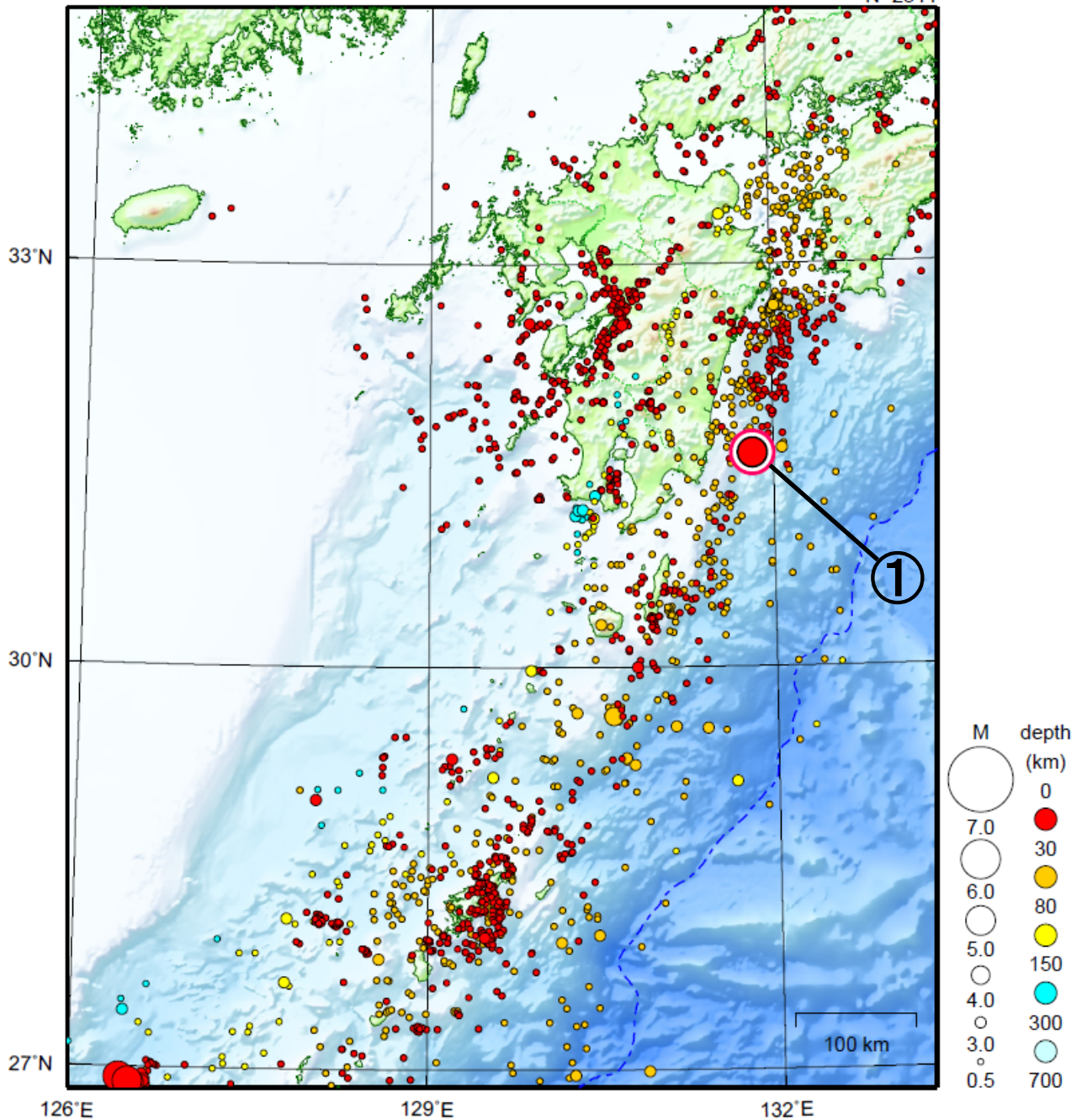


九州地方

2022/05/01 00:00 ~ 2022/05/31 24:00

N=2344



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

- ① 5月2日に日向灘でM5.0の地震（最大震度3）が発生した。

[上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

気象庁・文部科学省

5月2日 日向灘の地震

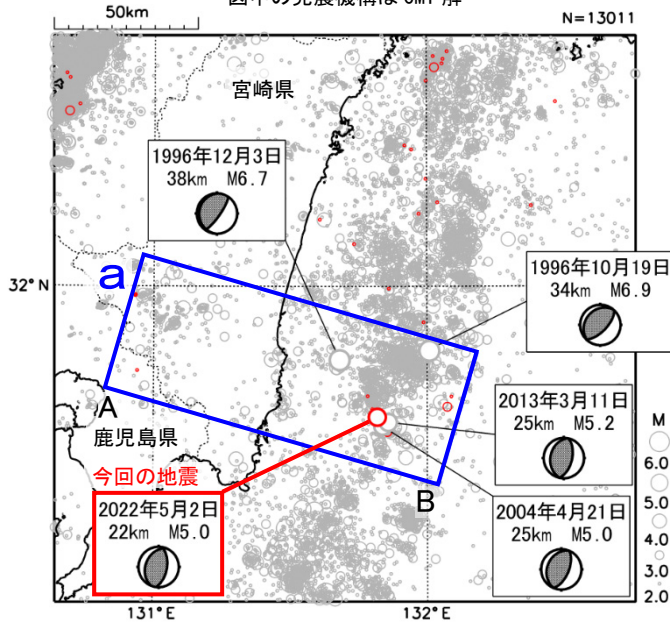
震央分布図

(1994年10月1日～2022年5月31日)

深さ0～100km、 $M \geq 2.0$

2022年5月の地震を赤色○で表示

図中の発震機構はCMT解



2022年5月2日16時08分に日向灘の深さ22kmでM5.0の地震(最大震度3)が発生した。この地震は、発震機構(CMT解)が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近(領域b)ではM5.0以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に発生したM6.9の地震(最大震度5弱)では、高知県の室戸市室戸岬、土佐清水で14cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測した。また、1996年12月3日に発生したM6.7の地震(最大震度5弱)では、宮崎県の日南市油津、高知県の土佐清水で12cm(平常潮位からの最大の高さ)の津波を観測した。

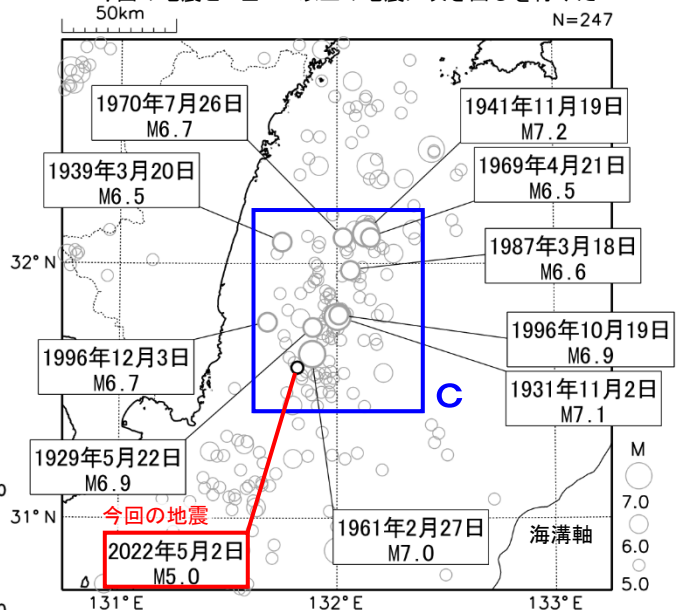
1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺(領域c)ではM6.0以上の地震が時々発生している。1931年11月2日に発生したM7.1の地震では、死者1人、負傷者29人などの被害が生じたほか、高知県の室戸岬で85cm(全振幅)の津波を観測した(被害は「日本被害地震総覧」による)。

震央分布図

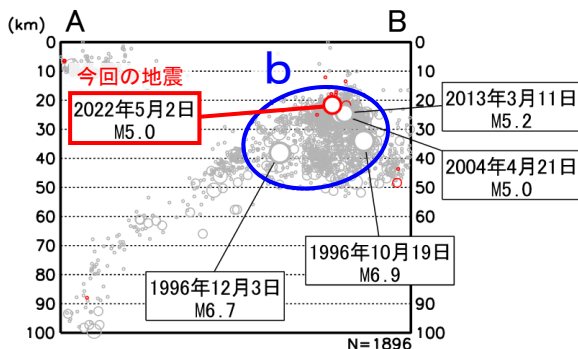
(1919年1月1日～2022年5月31日、

深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

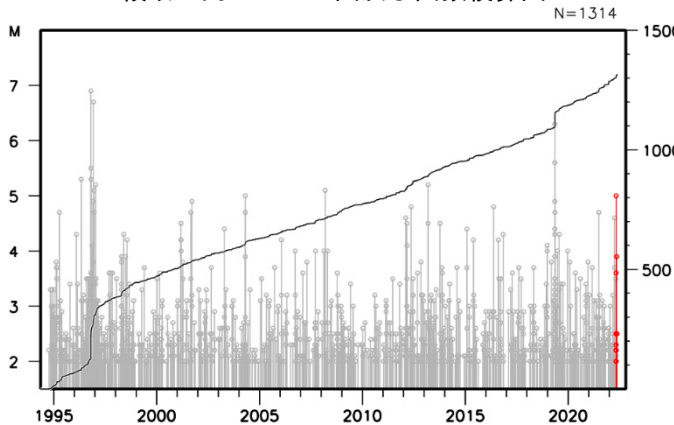
今回の地震と $M \geq 6.5$ 以上の地震に吹き出しを付けた



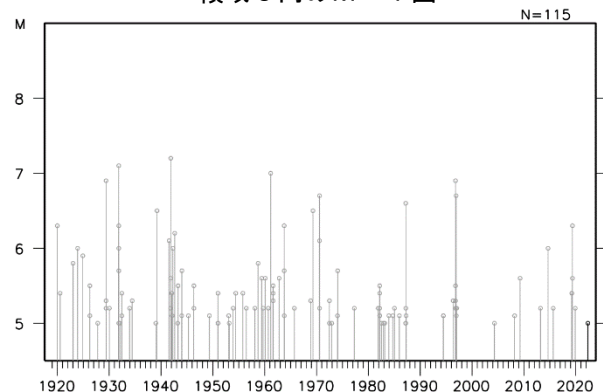
領域a内の断面図 (A-B投影)



領域b内のM-T図及び回数積算図



領域c内のM-T図



気象庁作成